

令和 7 年 10 月 1 日
国立大学法人長崎大学
学長 永安 武

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

国立大学法人長崎大学(以下「本学」という。)は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構(以下「JASSO」という。)が発行するソーシャルボンド(第 79 回日本学生支援債券、以下「本債券」という。)への投資を実施しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券のことであり、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。

(JASSOリンク) <https://www.jasso.go.jp/about/ir/saiken/siryo.html>

本債券の発行による調達資金は、JASSOが担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽²⁾の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

本学は、本債券への投資等を通じて、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	第 79 回日本学生支援債券
年 限	2 年
発行額	300 億円
発行日	令和 7 年 6 月 9 日

- (1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- (2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以 上